

# ⑫ バサルトネット工法

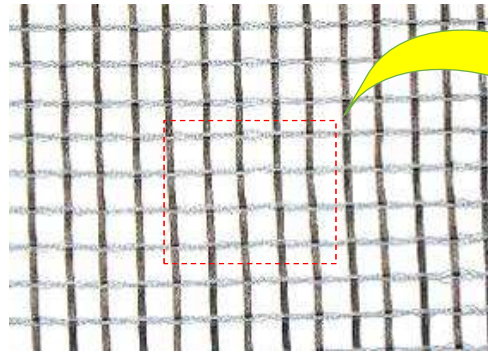
- バサルト繊維（玄武岩繊維）を原料とし、特殊な製織法により製造した粗目ネットを使用したコンクリート構造物のはく落防止工法を開発
- 粗目ネットを半透明のアクリル樹脂接着剤で貼り付けるため、施工後も構造物の目視点検が可能
- バサルトネット及びアクリル樹脂接着剤は耐候性に優れているため、仕上げ塗りが不要

《バサルト繊維》



玄武岩を溶融して製造した  
高強度、低コストの繊維

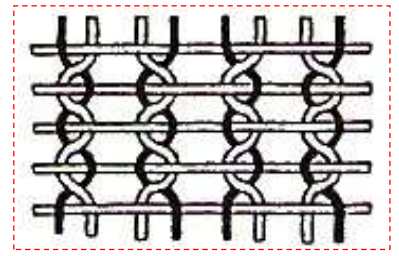
《バサルトネット》



粗目のネットに製織

バサルト繊維各3本

バサルト繊維6本

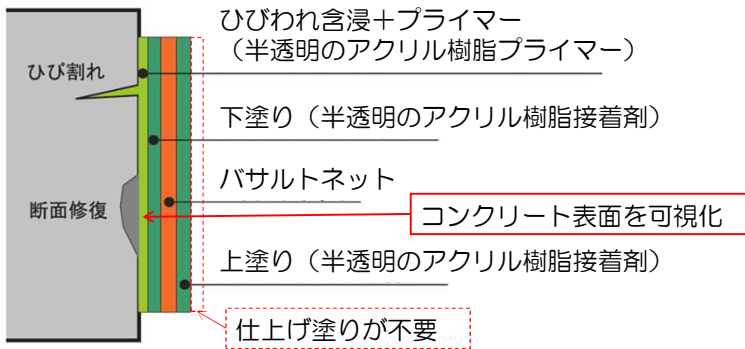


撚織りで製織

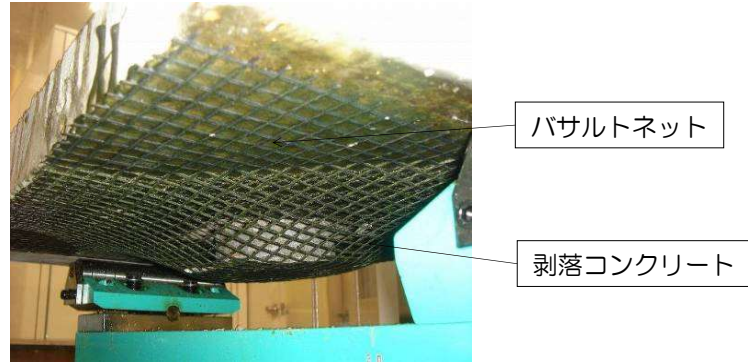
【撚織りの特徴】

撚織りで製織すると、交点が強く固定されるため、粗目のネットでも強度を高くすることが可能

【バサルトネット工法の概要断面図】



【コンクリートのはく落を想定した耐荷力試験】



【施工手順】

① プライマー塗布



② 樹脂下塗り



③ バサルトネット貼付



④ 樹脂上塗り



⑤ 完了



⑤ 完了（詳細）

